

首都圏初の「マンション用戸別太陽光発電システム」を稼動 ～川崎市の当社社宅へマンション用戸別太陽光発電システムを設置～

記者各位

当社(社長:西尾進路)は、首都圏(東京電力管内)では初めてとなるマンション用戸別太陽光発電システムを、川崎市の当社社宅(全36戸)に設置し、本日、稼動開始しましたので、お知らせいたします。

今回稼動したシステムは、当社が独自に開発したパワーコンディショナ(※1)を用い、マンションの各戸ごとの太陽光発電を可能としたもので、このシステムにより、戸建ユーザーと同様に、太陽光発電による余剰電力買取制度の対象となり、マンションユーザーでも居住者が電気の使用を節約した分のメリットを享受することができます。(※2)

今回、当社が開発した「マンション用戸別太陽光発電システム」は、パワーコンディショナのもつ停電を感知する仕組みが相互に干渉し誤作動するという問題点を解決するとともに、パワーコンディショナのサイズについてもマンション向けとして国内最小(A4)サイズを実現しました。

今後、当社は、本システムの商品化を図り、新築マンションやリノベーションマンションに加え、マンションの大規模修繕時などにおける導入提案を通じた、「環境に優しい家庭用エネルギーシステム」であるマンションへの太陽光発電の普及促進を目指してまいります。

※1 パワーコンディショナは、太陽電池モジュールで作られた直流電力を家庭で使える交流電力に変換するための装置。安全のため、系統電源停電時にシステムを停止させる機能も有している。

※2 各戸ごとではなく、電力供給事業者が管理する太陽光発電システムをマンションに設置し、太陽光発電による電力を居住者に分配する仕組みの場合、太陽光発電による余剰電力の買取制度の対象外となる。

記

【当社川崎市社宅(36戸)太陽光発電システム概要】

HIT太陽電池モジュール (HIP-200NKH:三洋電機製)200W	各住戸6枚 × 36戸 = 216枚
システム最大出力合計	200W × 216枚 = 43.2kW
パワーコンディショナ (ENS12-090:新日本石油製)1.2kW	36台



当社社宅へ設置した太陽光発電パネル



国内最小パワーコンディショナ

以上